

令和5年度 学校評価分析

番号	質問事項	分析等
1	学校として、スクールポリシーに基づいて教育課程が編成・実施されている。(教育課程)	生徒・保護者ともに8割を超えている。カリキュラムポリシーにあるティームティーチングの授業に満足しているのではないかと推測される。ほかのスクールポリシーに対しても理解を深めさせていきたい。
2	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。(学習指導)	生徒の肯定的な意見が8割を超えている。保護者の肯定的な意見が9割を超えている。生徒保護者の満足度は高く、さらによりよい授業を行えるような環境整備等を行う。
3	生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。(生徒指導)	生徒(77%)、保護者(83%)と概ね肯定的な評価を得た。生徒の回答が80%を下回っており、挨拶や身だしなみ面に対する指導やサポートを引き続き継続していきたい。
4	生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。(進路指導)	肯定的な評価について、R3→R4→R5：生徒96%→89%→93%、保護者96%→90%→81%と推移している。生徒については、昨年度より肯定的な評価が増えたが、理由としては、進路ガイダンスの業者を変更し、生徒の希望にある程度添う内容で実施出来たことが考えられる。保護者においては、例年2学年の肯定的評価が低く出る傾向がある。理由としては、総合的な探究の時間において、進路指導よりも地域探究学習について時間を使っていることが考えられる。今後は少ない時間の中でインターンシップ等の指導を通して保護者の理解を図りたい。
5	生徒にとって、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。(教育相談)	生徒、保護者ともに94%と高い評価であった。養護教諭が中心となって体制をつくっており、生徒や保護者がSCやSSWに相談しやすい雰囲気や体制が高い評価の要因につながったと考えられる。
6	学校として、部活動は活発に行われている。(部活動)	生徒(92%)、保護者(81%)と肯定的な評価を得た。特に生徒の回答は、90%を超えている。今年度は運動部・文化部共に熱心に活動しており、それが高い評価につながったと考えられる。
7	学校として、生徒会活動は活発に行われている。(生徒会活動)	生徒、保護者ともに高い評価を得た。生徒会が中心になって運営する活動や行事の中で生徒会が活躍する場面も多いことが高い評価の要因と考えられる。
8	自分にとって、有意義な学校行事がある。(学校行事)	生徒(86%)、保護者(94%)と肯定的な評価を得た。また、両方とも昨年度よりも評価が増加しており、今後も魅力ある学校行事を運営していきたい。
9	学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。(特色ある学校づくり)	生徒全体評価は、昨年度より1%減少した。特に2学年の評価が最も低い数値となっている。総合的な学習の時間等で、地域理解を図る授業を展開し「蔵王町の良さ」への気づきと、地域とともにある学校づくりのための施策実施を各学年と課題共有しながら計画を立てていきたい。
10	生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えられている。(防災教育)	前年度比較で11%低下した(80%→69%)。特に生徒数の多い1年生で67%と数値の低下が見られる。非常時の対応については、年度初めの段階で周知の徹底を図る必要がある。
11	保護者に対して、学校便りなどによって、学校の情報を適切に伝えられている。(開かれた学校づくり)	肯定的な意見が過半数以上を超えている。学校から連絡やお知らせ等は紙媒体が殆どで、保護者の手元にとどいていない可能性がある。メールやHPを活用してより学校の情報が届くよう整備していきたい。

12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。(施設整備)	肯定的評価は保護者・教職員分が前年度比で同等・14%増となった一方、生徒分は5%減となっている。職員・生徒による清掃等には限界があることから、業務委託(外部業者へ)での対応を進めたい。
13	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。(いじめ問題)	生徒(85%)、保護者(88%)、教職員(100%)と肯定的な評価であった。教職員のいじめの早期発見・早期対応の意識、定期的なアンケートの実施等が評価につながったと考えられる。
14	自分にとって、学校生活は充実している。(総合満足度)	生徒・保護者の8割以上が学校生活に充実感を感じている。生徒が充実した学習時間を過ごせるよう、よりよい学習環境を準備していきたい。また、学校行事、生徒会活動、部活動が概ね肯定的な評価であったことも学校生活の充実につながったと考えられる。今後も魅力ある学校行事等を継続、工夫していきたい。進路指導の観点からは生徒・保護者いずれも昨年度より高い肯定的評価となっているが(生徒82%、保護者89%)、生徒の詳細を見ると、現2年生が昨年度より肯定的評価が微減している。満足度の低い生徒の要因を把握するため、面談等を実施して生徒理解に努めたい。